

四四二九番

厩うまやなる 繩なはた絶つ駒こまの 後おくるがへ 妹いもが言いひしを
置おきて悲かなしも

四四三〇番

荒あらし男をの いをさ手たばさ挟み 向むかひ立たち かなるま
しづみ 出いでてと我あが来くる

四四三一番

笹ささが葉はの さやぐ霜しもよ夜に 七ななへか重か着る 衣ころもに増ませ
る 児ころが肌はだはも

四四三二番

障さへなへぬ 命みことにあれば かなし妹いもが 手たまくらはな枕はな離
れ あやに悲かなしも